

2025年3月

グラフで見る和歌山県経済指標

和歌山県経済は、総じて弱さが見られる

内閣府の月例経済報告（2025年3月19日公表）において、「景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している」との判断が維持された。個別項目では、「企業収益」において判断が引き上げられた。

以下では、「全国的情勢」、「和歌山県的情勢」を主要経済指標（主に2月の値）に基づき報告する。

全国的情勢

- ① 需要動向に関して、「個人消費」「設備投資」「公共投資」「住宅建設」「輸出」「輸入」のいずれについても判断が維持された。
- ② 企業活動に関して、「生産」「業況判断」「倒産件数」に関する判断が維持される一方で、「企業収益」は、中小企業における増益状況を受けて、判断が引き上げられた。
- ③ 雇用情勢に関しては、「改善の動きがみられる」との判断が維持された。
- ④ 物価に関しては、「国内企業物価」については、「緩やかに上昇している」、「消費者物価」については、「上昇している」との判断が維持された。
- ⑤ 世界経済に関しては、「一部の地域において足踏みがみられるものの、持ち直している」との判断が維持された。ただし、地域・国別では、韓国において世界貿易の先行き懸念、物価上昇の継続もあり、景気判断が「景気は持ち直しに足踏みがみられる」に引き下げられた。

和歌山県的情勢

① 個人消費面では、百貨店・スーパー販売額（2月）は、前年がうるう年であったことから、営業日数が1日少なかったにも関わらず、前年同月比0.1%増となり、4か月連続で前年を上回った。県内ただ一つの百貨店である近鉄百貨店和歌山店の販売額（2月）が、前年同月比1.3%減となっていることからスーパー販売額は前年同月を上回った模様。食品価格の上昇もあり、昨年11月以降、スーパー販売額が前年同月を上回る水準で推移している。ただし、食料品の価格上昇は継続しており、家計の節約志向の強まりが懸念される。

新車販売台数（軽自動車[乗用]含む、2月）は、前年同月比20.3%増となり、2か月連続で前年を上回った。登録車、軽乗用車ともに前年同月比20%前後の増加となっている。前年同月は、一部自動車メーカーによる認証不正問題で販売台数が大きく落ち込んでおり、今回はその反動増が現れた。

新設住宅着工戸数（2月）は、前年同月比28.8%増（2か月ぶりに前年を上回る）。前年7月以降、着工戸数は減少傾向にあったが、足下では持ち直しの動きも見られる。直近6か月間（前年9月～2月）の累計着工戸数を地域別に見ると、和歌山市で前年同期比11.1%減、海南市が38.9%減、橋本市が59.2%減、田辺市18.3%、新宮市32.6%減となる一方で、岩出市は86.1%増となっている。

② 企業活動面では、鉱工業生産指数（1月）は81.2となっており、2か月ぶりに上昇した。県内主要業種である「はん用機械工業」の生産指数が約2年半ぶりの高水準まで上昇

した。ただし、県内製造業の生産状況は「一進一退」の状況にある。2023年10月にENEOS和歌山製油所が操業を停止したことで、化学工業、石油・石炭製品工業の生産指数は低い水準にあり、主力業種である鉄鋼業、生産用機工業についても指数が低迷している。

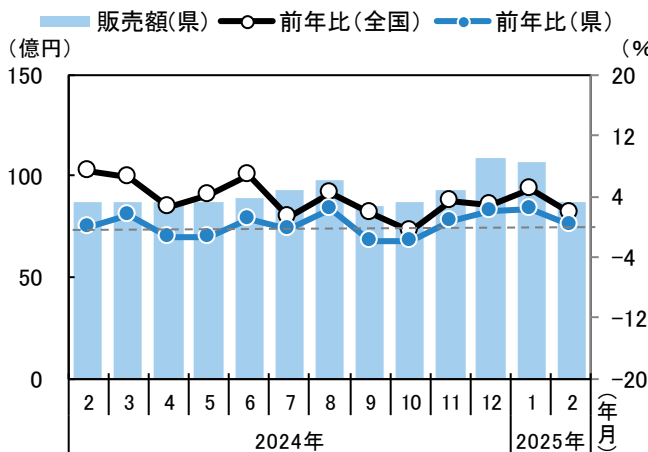
公共工事請負金額(2月)は、前年同月比8.1%減となり、5か月連続で前年を下回った。2021年度以降、減少傾向にある請負金額だが、24年度に関しても、前年4月～2月累計の請負金額が前年同期比4.3%減となっている。全県では減少基調にある請負金額(前年4月～2月累計)だが、地域別では和歌山地区で前年同期比15.0%増、岩出地区で同3.1%増、湯浅地区で同9.8%増、新宮地区で同3.4%増となっている。その一方で、前年同時期に新庁舎建設関連の大型工事が見られた御坊地区、田辺地区では請負金額が減少している。

帝国データバンクが発表している県内TDB景気DI(2月)は、2か月ぶりに上昇した。建設業の景気DIが2か月連続で下降する一方、製造業や卸売業、サービス業でDIが上昇した。このような状況の中で、帝国データバンクは、「県内企業の価格転嫁は少しずつ進みつつあるものの、賃上げ対応等もあり経費は増加傾向の会社が多い」としている。

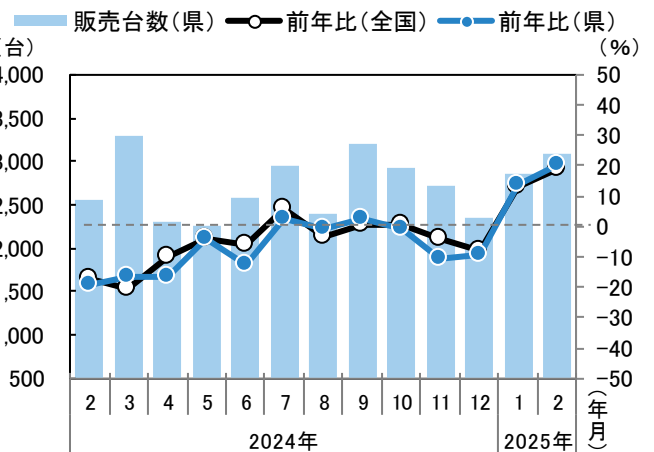
③雇用面については、有効求人倍率(2月)は、前月から0.02ポイント下降。有効求人数が4か月ぶりに減少した。新規求人数も2か月連続で減少している。業種別では、卸売業・小売業、生活関連サービス業・娯楽業、宿泊業などで新規求人数が前年同月に比べて減少している。

このような状況について、和歌山労働局では、「雇用情勢は、求人が求職を上回る状況が続いており、緩やかに持ち直しの動きがみられるが、求人の一部に足踏み感がある。引き続き、物価上昇等が雇用に与える影響に注意する必要がある」と判断している。

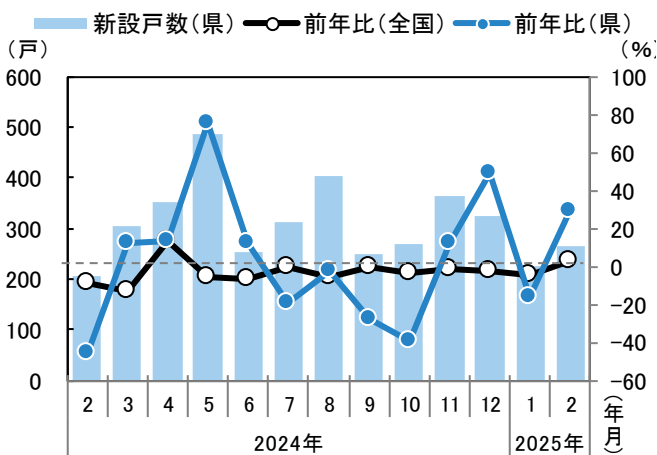
百貨店・スーパー販売額



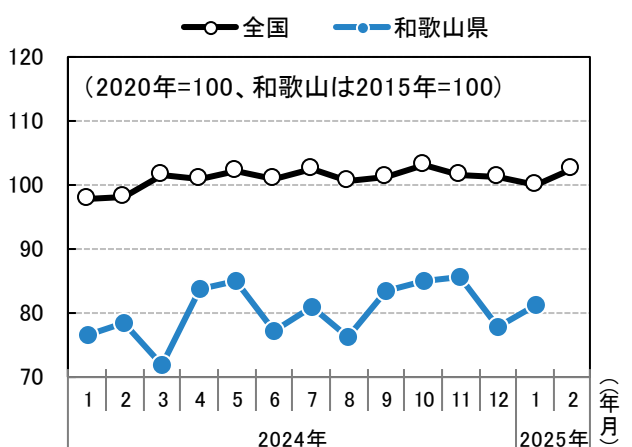
新車(登録車+軽自動車)販売台数

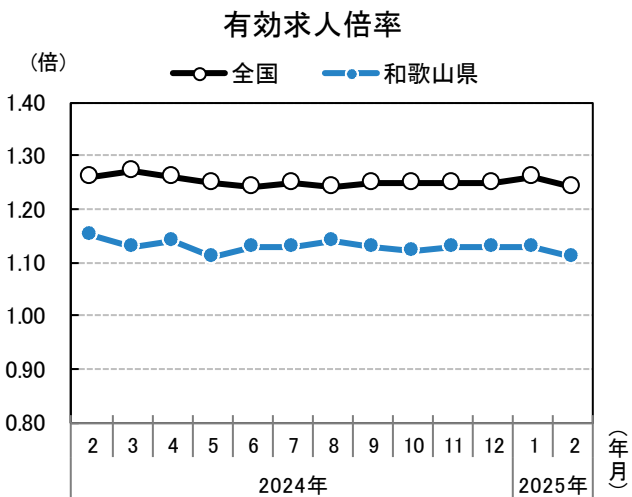
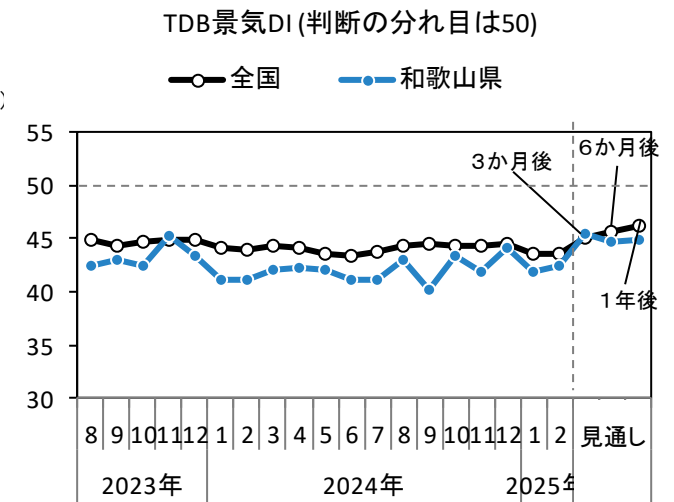
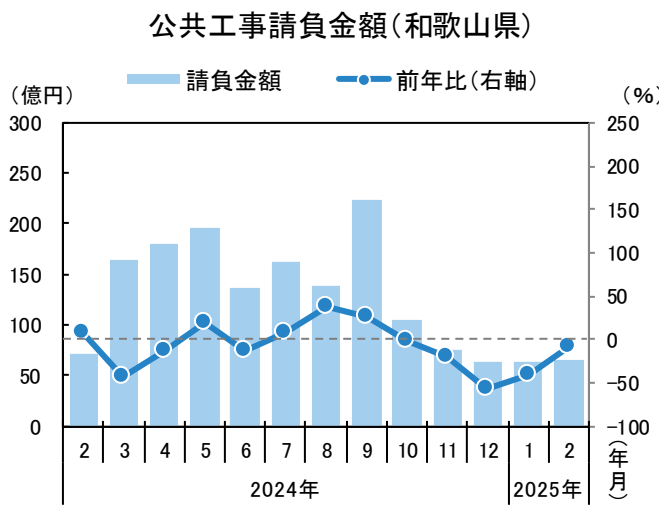
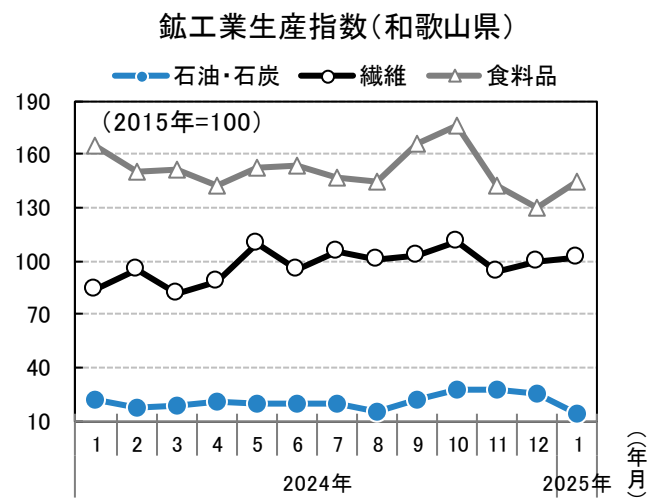
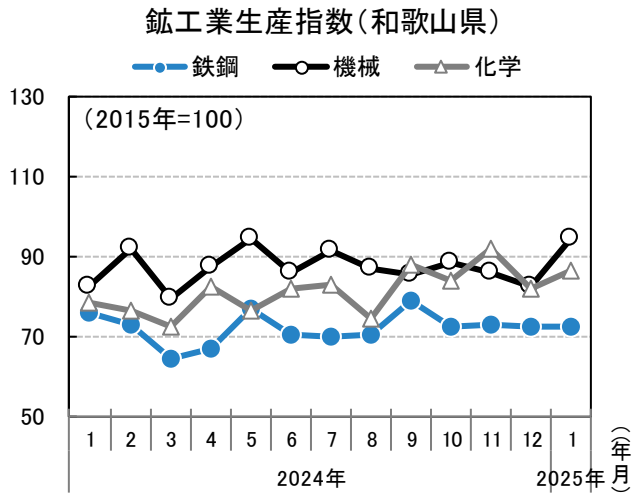


新設住宅着工戸数



鉱工業生産指数





(資料)株式会社帝国データバンク

(1)個人消費面

	百貨店・スーパー販売額			新車販売台数(*登録+軽)			新設住宅着工戸数		
	販売額 (億円)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	販売台数 (台)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	着工戸数 (戸)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)
2019年	1,188	-1.1	-1.9	38,733	-1.6	-0.6	5,188	-4.0	5.1
2020年	1,133	-5.4	-5.4	33,942	-11.6	-12.4	4,514	-9.9	-13.0
2021年	1,093	0.9	-3.7	32,416	-3.3	-4.5	4,591	5.0	1.7
2022年	1,090	3.8	-0.3	30,549	-7.0	-5.8	4,758	0.4	3.6
2023年	1,106	4.6	1.5	20,583	18.4	19.0	3,958	-4.6	-16.8
2024年1月	104.1	3.3	-0.2	2,510	-10.9	-16.3	269	-7.5	-24.0
2月	86.7	7.4	0.0	2,566	-17.2	-19.4	205	-8.2	-45.8
3月	87.2	6.6	1.5	3,283	-20.5	-16.7	305	-12.8	12.5
4月	87.2	2.7	-1.3	2,301	-10.1	-16.4	354	13.9	13.5
5月	87.1	4.2	-1.5	2,256	-4.2	-4.0	488	-5.3	75.5
6月	89.4	6.7	1.1	2,590	-6.2	-12.9	253	-6.7	12.4
7月	93.0	1.2	-0.4	2,940	5.6	2.6	314	-0.2	-19.5
8月	98.3	4.5	2.3	2,390	-3.6	-0.8	404	-5.1	-2.7
9月	85.5	1.8	-2.0	3,210	0.6	2.5	249	-0.6	-28.0
10月	86.9	-0.6	-1.8	2,915	0.7	-0.9	269	-2.9	-39.7
11月	92.9	3.3	0.7	2,717	-4.4	-10.9	364	-1.8	12.0
12月	108.5	2.8	2.1	2,342	-8.0	-9.5	326	-2.5	49.5
2025年1月	106.7	4.9	2.4	2,847	13.3	13.4	227	-4.6	-15.6
2月	86.8	1.8	0.1	3,087	18.7	20.3	264	2.4	28.8

(2025年4月1日に取得可能な資料より作成)

(2)企業活動面

	鉱工業生産指数(2015年=100) *全国は2020年=100								公共工事請負額		TDB 景気DI
	全国	和歌山県	鉄鋼	機械	化学	石油石炭	繊維	食料品	請負金額 (億円)	和歌山県 (前年比)	
2019年	111.6	102.7	110.3	100.8	100.5	95.4	106.6	138.0	1,585.1	6.6	
2020年	100.0	88.9	81.3	85.0	92.6	76.5	105.0	119.5	1,847.2	16.5	
2021年	105.4	88.4	78.1	89.9	85.6	68.6	101.8	139.8	1,806.3	-2.2	
2022年	105.3	97.2	83.9	98.2	95.8	110.6	104.6	142.8	1,584.1	-12.3	
2023年	103.9	89.8	78.3	92.0	91.2	86.8	104.0	139.4	1,711.6	8.0	
2024年1月	97.7	76.3	75.9	82.2	78.5	21.5	83.9	164.4	107.7	65.4	41.1
2月	98.0	78.4	73.0	91.9	76.4	17.1	95.1	150.5	71.5	8.8	41.1
3月	101.4	71.7	64.1	79.5	72.4	18.0	81.6	151.3	164.9	-42.2	42.0
4月	100.8	83.5	66.8	87.2	82.1	21.0	88.7	142.4	180.4	-12.3	42.2
5月	101.9	85.0	76.7	94.1	76.4	19.1	110.0	152.7	196.1	20.3	42.1
6月	100.7	76.9	70.5	85.6	82.0	19.9	95.5	153.2	135.9	-12.5	41.2
7月	102.5	80.9	69.9	91.3	82.9	20.1	104.7	146.3	163.4	8.6	41.1
8月	100.5	76.2	70.5	86.9	74.5	15.2	100.5	144.2	139.5	37.2	43.0
9月	101.2	83.4	78.9	85.4	87.9	22.1	102.8	166.0	223.2	26.2	40.2
10月	103.0	85.0	72.4	88.3	83.8	27.6	110.8	176.2	104.9	-1.5	43.4
11月	101.3	85.5	72.6	85.7	91.9	28.0	93.5	141.9	74.7	-19.0	41.9
12月	101.0	77.7	72.5	82.2	81.7	25.0	99.4	129.9	63.8	-55.7	44.2
2025年1月	99.9	81.2	72.5	94.3	86.4	14.1	101.8	144.4	63.9	-40.7	41.8
2月	102.4								65.7	-8.1	42.4

(注)鉱工業生産指数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(2025年4月1日に取得可能な資料より作成)

(3)雇用面

	有効求人倍率		有効 求人数 (人)	有効 求職者数 (人)	充足率	
	全国 (倍)	和歌山県 (倍)			パートタイム 除く(%)	パートタイム (%)
2019年	1.60	1.41	17,920	12,699	17.6	17.1
2020年	1.18	1.05	15,107	14,373	16.2	18.8
2021年	1.13	1.09	16,195	14,876	15.2	18.2
2022年	1.28	1.15	16,977	14,777	14.8	16.8
2023年	1.31	1.13	16,340	14,409	14.7	18.2
2024年1月	1.27	1.13	16,533	14,662	10.8	11.8
2月	1.26	1.15	16,904	14,666	14.1	18.3
3月	1.27	1.13	16,557	14,611	17.1	24.2
4月	1.26	1.14	16,466	14,458	16.5	19.3
5月	1.25	1.11	16,310	14,640	15.3	21.3
6月	1.24	1.13	16,504	14,627	14.5	17.7
7月	1.25	1.13	16,433	14,516	13.2	16.5
8月	1.24	1.14	16,484	14,442	12.6	13.7
9月	1.25	1.13	16,340	14,492	12.7	17.7
10月	1.25	1.12	16,265	14,532	14.5	16.4
11月	1.25	1.13	16,439	14,607	13.2	17.0
12月	1.25	1.13	16,484	14,619	12.0	14.7
2025年1月	1.26	1.13	16,565	14,600	10.2	13.5
2月	1.24	1.11	16,292	14,683	12.3	18.3

(2025年4月1日に取得可能な資料より作成)

(注1)有効求人倍率、有効求人数、有効求職者数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(注2)「充足率」とは、事業者が希望通りの人員数を確保できるかどうかを数値で表したものであり、数値が低いほど、人材の確保が難しい。